

第5章 生涯医学教育体制

【現状の説明】

金沢医科大学病院は、平成6年4月に北陸地方最初の特定機能病院の指定をうけ、平成7年7月21日にはエイズ拠点病院に選定され、急性期疾患病院を使命とする地域の基幹病院として、地域医療機関との連携を深めている。昭和49年の開院以来、患者中心の医療を一貫とした理念とし、当院における専門医の育成を図るとともに、地域医療医師の生涯医学教育に資することを目的として、① 後期臨床研修から専門医養成のための専門医修練、② 地域医療連絡部（平成6年4月に地域医療連絡室として発足）を介した患者紹介・返書を介しての専門医による情報提供、③ 地域一般医師を対象とした登録医制度（平成3年4月発足）による病診連携・院内研修、④ 院内臨床病理検討会（CPC）、医療安全管理体制確保のための研修会、感染防止に関する教育講演会等の地域一般医師への解放、さらには、⑤ 地域住民を対象とした院内講演会および様々なメディアと介した健康・教養情報の提供を行っている。

1 後期臨床研修から専門医養成のための専門医修練

金沢医科大学病院は日本屈指のメディカルセンターとして29の診療科を有し、各学会の認定医、専門医、指導医育成指定病院となっている。それぞれの科が後期臨床プログラムを有し、本学で取得可能な各学会が指定する専門医は51種類に上り、またこの他、18種類の認定医、指導医などの医師資格の取得が可能である。また本学においては、個々の医師の専門性のみならず、患者さま中心の医療に不可欠な、高い医療技術による安全で患者様に安心していただける医療、患者さまの病態に応じた各時期での多職種カンファレンスによるチーム医療の中での医師の役割、地域医療との連携の能力、さらには研究マインドを有する医師の涵養に努めており、また医療安全、感染防止、倫理、接遇に関する研修会も全職種を対象に定期的に企画されている。

2 地域医療連携部

金沢医科大学病院では、平成6年4月に特定機能病院としての承認を受け、地域の医療機関との有機的な連携を密接に行うことを目的として、院内に地域医療連携室（事務課）を設置した。現在、石川県を中心に、北陸地方の医療機関との地域医療連携を通じ、地域医療機関から紹介された患者さまの紹介元への返書（結果報告）・経過報告、逆紹介などを介して専門医による情報提供を行っている。ちなみに平成17年の外来患者数は277,235名、入院患者数は355,954名で、患者紹介率は51.4%、患者逆紹介率は86.9%に達する。

（1）地域医療連携室

地域医療連携室では下記の業務を行っている。

① 患者さまの地域医療機関からの紹介受け入れ、逆紹介業務

紹介患者さま（一般、救急車搬送、検査希望など）に対する院内紹介業務、紹介

元への逆紹介、あるいは関係医療機関等、福祉施設、精神病院等への紹介業務を行う。

② 地域医療、保健、福祉機関の情報収集管理・提供

金沢医科大学病院機能情報誌および病院マップの各診療室・病棟に配布、および電子カルテ上への地域医療機関（関連病医院含む）・福祉施設の名称、診療機能、住所等の情報提示

③ 地域の医療、保健・福祉機関や医師会等との連携及び広報活動

広報誌（金沢医科大学病院機能情報誌：当院医療情報の院内および地域医療機関に配布、医科大どおり：トピックスの年4回発刊、病院マップ：年1回の発行など）

④ 登録医の受け入れ（下記）

⑤ 関連病院会議（関連病院）、地域医療懇談会（地域開業医師）の開催

⑥ 医療福祉相談業務

医療福祉相談員（ソーシャルワーカー）業務、医療保険・介護保険制度、社会福祉制度等の説明と各機関との連絡調整業務、および後方連携業務

⑦ 受療相談、社会復帰に向けた医療社会事業等の説明と連絡調整

（2）地域医療連携委員会

「病院として他施設への紹介・転院」が適切におこなわれるために、患者さまの状態に応じた紹介先施設が組織的に検討され、その情報が院内で共有されることを目的に、地域医療連携委員会が設置されており、地域医療連携室が行う業務のあり方全般の方向性の決定を行っている。

3 地域一般医師を対象とした登録医制度による病診連携・院内研修

金沢医科大学病院登録医制度は、地域の医療機関の医師及び歯科医師と本院病院の医師との間の交流を通して相互の生涯研修に資するとともに、地域医療の発展に寄与することを目的としている。登録医は本学病院の各診療科において症例検討会、病棟廻診、外来診療、手術手技、検査手技などの検討会、各種研究会などの参加及び自らが紹介した患者さまの当院外来診察室での診察や手術などに参加できる。その他、登録医には他に下記の機会が与えられる。

（1）図書館の利用

（2）オープン外来

① 特定機能病院としての当院のMR I やC T等の高機能施設を広く地域医療医師にも利用していただき、日常の診療に役立ててもらう。

② 開業医の方に平日の午後を中心に、当院の外来診察室を開放し、当院の医師と同じ診療環境で、中央放射線部のMR I、X線C Tを利用して地域医療医師の患者さまの診察を行うことができる。

4 院内 CPC、医療安全管理および感染防止等の研修会の一般医師への案内（資料5-1～資料5-4）

本院では安全管理体制確、保院内感染防止のための職員研修会等が、それぞれ年2回開催されており、地域の医療機関医師へ案内され、最新の知識、技能の提供に努めている。

5 地域住民を対象とした院内講演会および様々なメディアと介した健康・教養情報の提供

地域住民が関心を抱く医学的あるいは福祉・介護の諸問題について学問的な基盤にもとづいて指針を示し、助言を行って、問題の理解を深めていただくため、公開セミナー、各種メディアを通じて情報を提供している（資料5-5）。さらに金沢医科大学総合医学研究所においても市民公開セミナー、研究セミナーを毎年公開している（資料5-6）。

【点検・評価】

- 1 金沢医科大学病院では各科における後期臨床研修プログラムが整えられ、多様な専門医の育成の場としての体制が整えられ、それぞれの若き医師が将来構想として目指す専門医資格を取得する場としての環境が整っている。また北陸初の特定機能病院として、また急性期病院として、それぞれの専門疾患診療に習熟する十分な数の患者さまの来院も頂いている。また、多職種カンファレンス、地域医療との協力、医療安全・感染防止・倫理・接遇の研修会などを介して「患者さま中心の医療」を実現しうる医師としての人間性の涵養にも力が注がれている。
- 2 地域医療連携室による、地域の医療機関からの急性期患者さまの紹介や諸検査依頼の受付、院内の各専門診療科、診療部門との連絡調整機能、また、検査の終了時や診断確定時や慢性期へ移行時には地域の医療機関及び福祉施設への転院や逆紹介機能、さらには入院患者の社会復帰に向けた医療相談、さらに院内医療従事者への地域医療機関・福祉施設等情報の発信、院内の専門的な診療機能情報の地域医療機関への発信などの業務を通して、当学病院を急性期病院とする広域地域医療連携が実現できており、本学病院各専門医からの詳細な医療データの提供により地域医療機関医師に対し貢献するとともに、本学の臨床実習医学生、本学病院の初期臨床研修医、および各専門医師の地域医療の中での役割分担の重要性把握の修練になっている。
- 3 金沢医科大学病院登録医制度において本学病院の医療機能を広く地域の医療機関の医師、歯科医師に解放することにより、地域医療機関医師と本学病院の医師との交流を通じて相互の生涯研修に貢献している。平成18年度の地域医療機関医師による登録医数は51名である。
- 4 高い医療技術に支えられた安全な医療・患者さまの立場に立った十分なインフォームドコンセントを介した安心できる医療は現在医療の中心課題である。これらの基本となる安全管理体制確、保院内感染防止のための職員研修会等の案内が地域医療機関医師に案内されており、また本学登録医師には、学内ランのビデオ・オン・デマンドにより、これら研修会を自由な時間に何度でもご覧いただけるシステムが整備されている。
- 5 本学病院の医師による各専門分野の最新情報を地域住民に伝達する恒常的な努力がなされており、本学病院主催の講演会および各種メディアによる啓蒙活動は平成18年度の

みでも 90 回に達し、最新の医学情報の伝達に貢献している。

【将来の改善・改革に向けた方策】

- 1 北陸各市町村の医師会との情報交換を活発に行い、患者さまおよび地域医療機関のニーズを的確に把握し、病病・病診連携のさらなる発展に資し、地域医療機関の医師との相互の生涯医学教育研鑽に資する。
- 2 医療の安全、多職種カンファレンスによるチーム医療、地域医療連携などを理念とする特定機能病院、急性期病院を本分とする現在医療ニーズに即応できる診療体型を構築し、院内医師、地域医療医師への最新医療情報提供に努める。
- 3 地域医療連携の拠点病院として、さらに地域医療連携の強化・貢献を目指して、オープン病床を設け、紹介医が紹介患者の症状を自由に診療することができる体制にする。

[資料5-1] 金沢医科大学病院CPC開催について

良医の育成の場である金沢医科大学病院は、開院以来、患者様中心の医療の実践を目指し、地域医療の基幹病院として高度な医療を提供するとともに、病診・病病連携の強化に努めてまいりました。これまで学内の医師を対象とした臨床病理検討会（Clinico-Pathological Conference, CPC）は頻繁に行っておりましたが、加えて今年度より新しい形式のCPCを実施しております。研修医、診療各科医師はもちろんですが、学生、全職員、学外の先生方にも参加していただき、病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。今年度は予定通り3回開催し、多くの方に参加いただきました。毎回、担当医および病理医による検討だけでなく、放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、ミニレクチャー等を行っております。来年度も病院および大学内外の多くの方々のご協力を得て、チーム医療に役立つCPCを企画していきたいと思っております。是非、ご参加ください。

○第1回 心タンポナーデの一例

- ・開催日 : 平成18年4月19日（第3水曜日）
- ・開催時間 : 17:30～19:30
- ・開催場所 : 金沢医科大学病院本館C41講義室

○第2回 嘔吐とむせの後に急性呼吸不全を来した一例

- ・開催日 : 平成18年6月21日（第3水曜日）
- ・開催時間 : 17:30～19:00
- ・開催場所 : 金沢医科大学病院本館C41講義室

○第3回 多発外傷回復期の突然死の一例

- ・開催日 : 平成18年10月18日（第3水曜日）
- ・開催時間 : 17:30～19:00
- ・開催場所 : 金沢医科大学病院本館C41講義室

【資料5-2】 臨床研修センター「臨床病理検討会」

病院全体としては、月1回のCPC、診療科ごとのカンファレンスや抄読会を行っており、研修医には出席が義務づけられているとともに、内外の医師、院内多職種に参加が解放されている。

- 第1回 平成16年7月21日(水)
 - ・症例1 肝細胞癌の一例
 - ・症例2 髄膜脳炎の一例
- 第2回 平成16年9月21日(水)
 - ・症例1 動脈瘤によるクモ膜下出血・脳梗塞20年後に発生した肝腫瘍の一例
 - ・症例2 原発不明癌の一例
- 第3回 平成16年11月17日(水)
 - ・症例1 急性骨髄性白血病の一例
 - ・症例2 食道癌の一例
- 第4回 平成17年1月19日(水)
 - ・症例1 慢性腎不全の一例
 - ・症例2 悪性リンパ腫の一例
- 第5回 平成17年3月9日(水)
 - ・症例1 胃癌の一例
 - ・症例2 急性腎不全の一例
- 第6回 平成17年5月18日(水)
 - ・症例1 腹膜硬化症の一例
 - ・症例2 誤嚥性肺炎、完全房室ブロックの一例
- 第7回 平成17年7月20日(水)
 - ・症例1 腎腫瘍の一例
 - ・症例2 イレウスと肺腫瘍の一例
- 第8回 平成17年9月21日(水)
 - ・症例1 特異な組織像を呈した再発胃癌の一例
 - ・症例2 食道原発小細胞癌の一例
- 第9回 平成17年11月16日(水)
 - ・症例1 肺炎+慢性心不全の一例
 - ・症例2 悪性中皮腫の一例
- 第10回 平成18年1月18日(水)
 - ・症例1 急性骨髄性白血病の一例
 - ・症例2 硬化性胆管炎の一例
- 第11回 平成18年3月15日(水)
 - ・症例1 拡張型心筋症の一例

- ・症例2 突然死の一例
- 第12回 平成18年5月17日(水)
 - ・症例1 骨髄異形成症候群の一例
 - ・症例2 肺梗塞の一例
- 第13回 平成18年7月19日(水)
 - ・症例1 肺梗塞の一例
 - ・症例2 肺癌一例
- 第14回 平成18年9月20日(水)
 - ・症例1 腹部膨満感を主訴に肝脾腫を認めた一例
 - ・症例2 右上下肢の突然動かさにくさを主訴に来院した一例
- 第15回 平成18年11月15日(水)
 - ・症例1 骨盤内巨大腫瘍の一例
 - ・ミニレクチャー「胸水の発生・吸収機序」
- 第16回 平成19年1月17日(水)
 - ・症例1 耳下腺腫瘍の一例

[資料5-3] 安全管理体制確保のための職員研修会

- 平成18年3月16日(木)
 - ・講演 「患者さん中心、安全な医療、安心な医療 - 選ばれる病院目指して - 」
 - ・石川県医師会 理事 中村 彰 先生
- 平成18年7月12日(水)
 - ・講演 「医療安全対策の基本」
 - ・損保ジャパン・リスクマネジメント 医療リスクマネジメント部 工藤 純 先生

[資料5-4] 院内感染防止に関する教育講演会

- 平成18年3月7日(火)
 - ・講演 「えっ、こんなに違う米国と日本の周術期感染対策」
 - ・兵庫医科大学 感染制御学 教授 竹末 芳生 先生
- 平成18年10月3日(火)
 - ・講演 「院内感染アウトブレイクへの対応について - 感染症学の解析を用いて - 」
 - ・総合内科学(総合診療科) 助教授、院内感染対策小委員会副委員長 高橋 孝 先生

【資料5-5】 公開セミナー等 院外への情報提供活動の状況（平成18年度）

【公開セミナー】

◆公開セミナー		
開催日	セミナー内容	開催部署
6月7日	高齢者の健康と食 第48回日本老年医学会学術集会	高齢医学
6月8日	幸せな高齢社会をつくる 第48回日本老年医学会学術集会	高齢医学
6月9日	お年寄りの上手なお薬のみ方 第48回日本老年医学会学術集会	高齢医学
6月9日	介護保険制度改革と介護予防の展望 第48回日本老年医学会学術集会	高齢医学
6月23日	がんとたたかう 第31回日本外科系連合学会学術集会	消化器外科治療学
9月16日	集学的がん治療 北國健康・生きがい支援事業	21世紀集学的医療センター、
9月16日	睡眠時無呼吸症候群 第7回日本呼吸器学会北陸	呼吸機能治療学
9月30日	てんかん治療の進歩 第40回日本てんかん学会	神経精神医学
1月13日	もの忘れと認知症 北國健康・生きがい支援事業	21世紀集学的医療センター 精神神経科学、高齢医学

【テレビ・ラジオ等】

◆テレビ金沢「カラダ大辞典」放送リスト（平成18年4月～12月）		
放送日	放送タイトル	出演教員
4月5日	睡眠時無呼吸症候群	呼吸器内科 梅 教授
4月12日	睡眠リズム障害	神経内科 堀 助教授
4月19日	糖尿病シリーズ 1	内分泌内科 古家教授
4月12日	糖尿病シリーズ 2	内分泌内科 古家教授
5月3日	糖尿病シリーズ 3	内分泌内科 古家教授
5月10日	慢性疲労症候群	総合診療科 神田教授
5月17日	小児の慢性疲労症候群	総合診療科 高橋講師
5月24日	シェーグレン症候群	血液免疫内科 梅原教授
5月31日	頰椎症	脳神経外科 飯塚教授

6月7日	高齢医学	高齢医学科	松本教授
6月14日	高齢医学	高齢医学科	松本教授
6月21日	悪性リンパ腫	血液免疫内科	梅原教授
6月28日	認知症への音楽療法	神経精神科	地引教授・北本講師
7月4日	学会(外科系連合学会)	一般消化器外科	高島教授
7月11日	熱中症	救急医学	和藤教授
7月18日	AED	救急医学	和藤教授
7月25日	そけいヘルニア	小児外科	森村医師
8月1日	学会(英語教育)	英語	大瀧教授・真柴医師
8月8日	プール熱	小児科	高 教授
8月15日	皮膚の紫外線による影響	皮膚科	望月教授
8月22日	目の紫外線による影響	眼科	佐々木教授
8月29日	メタボリックシンドローム	生活習慣病	木越教授
9月5日	メタボリックシンドローム	生活習慣病	木越教授・田村教授
9月12日	メタボリックシンドローム	生活習慣病	木越教授
9月19日	学会(臨床病理)	臨床病理学	野島教授
9月26日	学会(臨床病理)	臨床病理学	野島教授
10月3日	禁煙	生活習慣病	松井教授・中西講師
10月10日	禁煙	生活習慣病	松井教授・中西講師
10月17日	学会(神経精神科)	神経精神科	地引教授
10月24日	尿管結石	泌尿器科	鈴木孝治教授
10月31日	尿管結石	泌尿器科	鈴木孝治教授
11月14日	先端医療プロテオミクス	総合医学研究所	友杉直久教授
11月21日	食物アレルギー外来	小児科	中野利美医師
11月28日	膠原病支援ネットワーク	血液免疫内科	梅原教授
12月5日	コンタクトレンズ	眼科	北川助教授
12月12日	お酒と肝臓の健康	消化器内科	高瀬教授
12月19日	非アルコール性脂肪肝炎	消化器内科	高瀬教授
12月26日	胆道閉鎖症(学会)	小児外科	伊川教授

◆富山テレビ・石川テレビ「発信！ 健康情報」		
放送日	番組テーマ	出演者
8月26日 9月2日	内視鏡治療・鏡視下手術	高島病院長 呼吸器外科 佐久間教授 消化器外科 吉谷講師 消化器内科 福羅助手

9月23日	メタボリックシンドローム	生活習慣病センター 松井教授
9月30日		生活習慣病センター 内田教授 生活習慣病センター 田村教授 栄養部 山本栄養士
10月28日	血管内治療	循環器内科 北山助教授
11月4日		胸部心臓血管外科 飛田助教授 脳神経外科 高田講師
11月25日	人工透析から腎移植まで	腎臓内科 浅香助教授
12月2日		泌尿器科 田中助教授
12月23日	睡眠時無呼吸症候群の診断と治療	呼吸器内科 榎 教授
1月13日		耳鼻咽喉科 高島講師
1月27日	アンチエイジング	形成外科 島田講師
2月3日		皮膚科 石崎講師 生活習慣病センター 赤澤助手

※放送日の上段は富山テレビ、下段は石川テレビ

◆北陸朝日放送「健康の館」		
放送日	テーマ	出演者
7月31日	生活習慣病への新たな挑戦 最新医療	健康管理センター 松井教授、田村教授、中西講師
	禁煙について 健康はてな箱	健康管理センター 中西講師
10月23日	口腔について 健康はてな箱	歯科口腔科 出村講師
	食事について 健康はてな箱	栄養部 北川朋子主任
11月20日	栄養摂取比較 (日本、中国、イギリス、米国) 最新医療	健康増進予防医学 三浦助教授 循環器内科 梶波教授
1月29日	高齢医学について 健康はてな箱 総合診療科について 健康はてな箱	高齢医学科 森本教授 総合診療科 神田教授

◆その他テレビ局（特集）			
放送日	番組テーマ	出演者	放送局
5月19日	音楽療法	神経精神科 北本講師	北陸朝日放送
7月24日	水虫ってどんな虫？	皮膚科 望月教授	共同通信テレビ

[資料5-6] 金沢医科大学総合医学研究所セミナー

◆市民公開セミナー（旧名称・春季セミナー）		
第1回	（平成2年3月）	がんの診断と治療
第2回	（平成3年2月）	老化と病気
第3回	（平成4年3月）	肥満と病気
第4回	（平成5年2月）	動脈硬化 ―その予防と治し方―
第5回	（平成6年2月）	成人病と眼
第6回	（平成7年2月）	肝臓の病気と日常生活
第7回	（平成8年3月）	難病（膠原病やリウマチ性疾患を中心に）
第8回	（平成9年3月）	最新の小児医療
第9回	（平成10年3月）	がん ―どこまで治るか、防げるか、21世紀に向けて―
第10回	（平成11年3月）	生活習慣と病気
第11回	（平成12年3月）	太陽紫外線と健康障害
第12回	（平成13年3月）	突然死から身をまもる
第13回	（平成14年3月）	最新のがん対策 ―健診から治療まで―
第14回	（平成15年3月）	循環器病を予防するためには
第15回	（平成15年10月）	肝臓を守ろう 生活習慣と肝臓病
第16回	（平成16年10月）	乳がんの最新の診断と治療
第17回	（平成17年10月）	最良のがん医療を求めて
第18回	（平成18年10月）	ゲノムと病気
◆研究セミナー（旧名称・秋季セミナー）		
第1回	（平成2年11月）	人工臓器と臓器移植
第2回	（平成3年10月）	遺伝病の最新の診断と治療
第3回	（平成4年10月）	がん基礎研究の臨床応用
第4回	（平成5年11月）	高血圧の診断及び治療の進歩
第5回	（平成6年10月）	C型肝炎ウイルスと肝臓病
第6回	（平成7年11月）	遺伝性疾患研究の新しい展開
第7回	（平成8年12月）	多嚢胞化萎縮症
第8回	（平成9年11月）	血管病変研究の新しい展開
第9回	（平成10年11月）	細胞周期
第10回	（平成11年10月）	細胞外マトリックス
第11回	（平成12年10月）	癌の Up to date
第12回	（平成13年11月）	肺の水分調節と疾患
第13回	（平成14年11月）	21世紀の医学研究のあり方
第14回	（平成16年2月）	消化器癌の浸潤・転移 ―メカニズムと臨床―
第15回	（平成17年2月）	細胞の死から再生へ ―医学研究の目標と進め方―
第16回	（平成18年2月）	抗ウイルス免疫とケモカイン
第17回	（平成19年2月）	オーロラ：細胞核ダイナミクスを制御する新しい抗がん標的分子